

## 京都府中丹文化会館

<p>課題・問題点等</p>	<p>(利用状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホールの利用率(67.0%)は近隣類似施設(舞鶴市、福知山市)との比較では良好な水準である。</li> <li>・直近の利用者数(160千人)は微増で推移しているが、ピーク時(平成12年度)との比較では約15%減少している。</li> </ul> <p>(施設老朽化の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設置後30年が経過し、空調・舞台照明機材等の大規模改修が必要になっている。</li> </ul>
<p>府民サービス等改革検討委員会による改善意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に府民にサービスが提供できており問題ない。</li> <li>・今後、老朽化による多額の修繕費用が発生するため、財源の確保が課題。無償貸付の有償化や、利用者に負担してもらうしくみの検討などが必要。</li> <li>・現在の館長が有する企画力や経営ノウハウを引き継いでいき、今後とも、安定した経営状況が維持できるよう、後継者の計画的な育成が必要。</li> <li>・府と市の共同事業ということで、エリアにおけるランドマークとして地域に1カ所は必要。</li> </ul>
<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p><u>継</u> <u>続</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者の育成については、検討委員会意見に同じ。</li> <li>・修繕費用については、受益と負担のバランスの観点から、短期、中長期に分け、適正な負担のあり方を幅広く検討していく。</li> <li>・将来的な施設のあり方については、設置後30年が経過したことを踏まえ、議論を始めていく。</li> </ul>